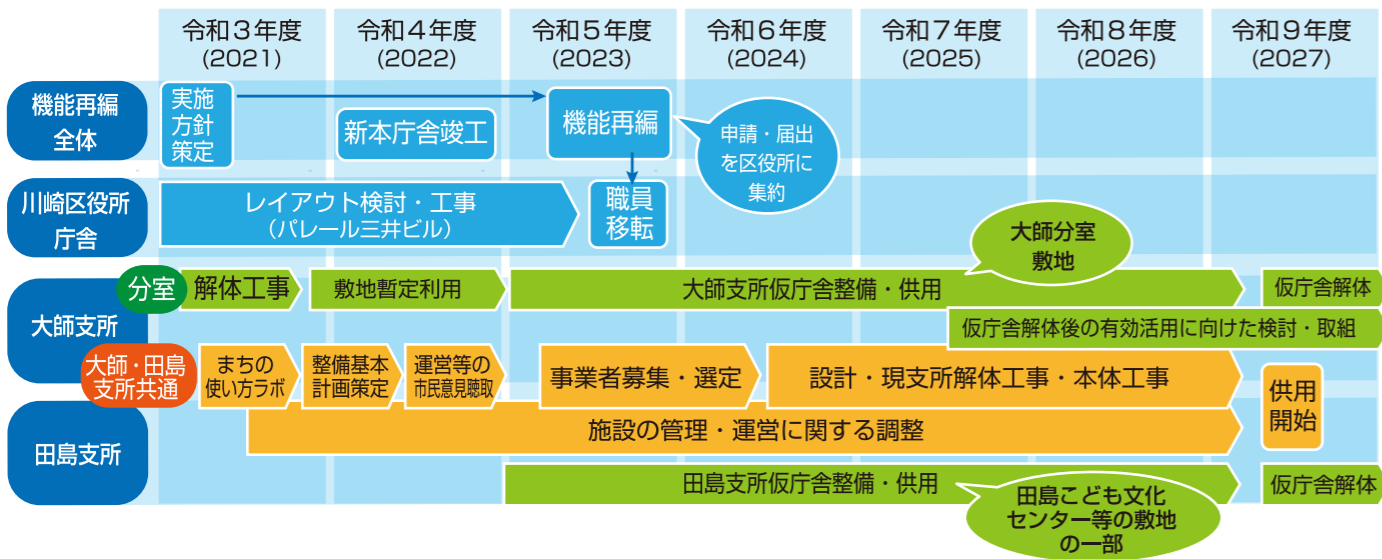


# 今後のスケジュール



# 大師分室の敷地で「Daishi One Park」をスタートします！

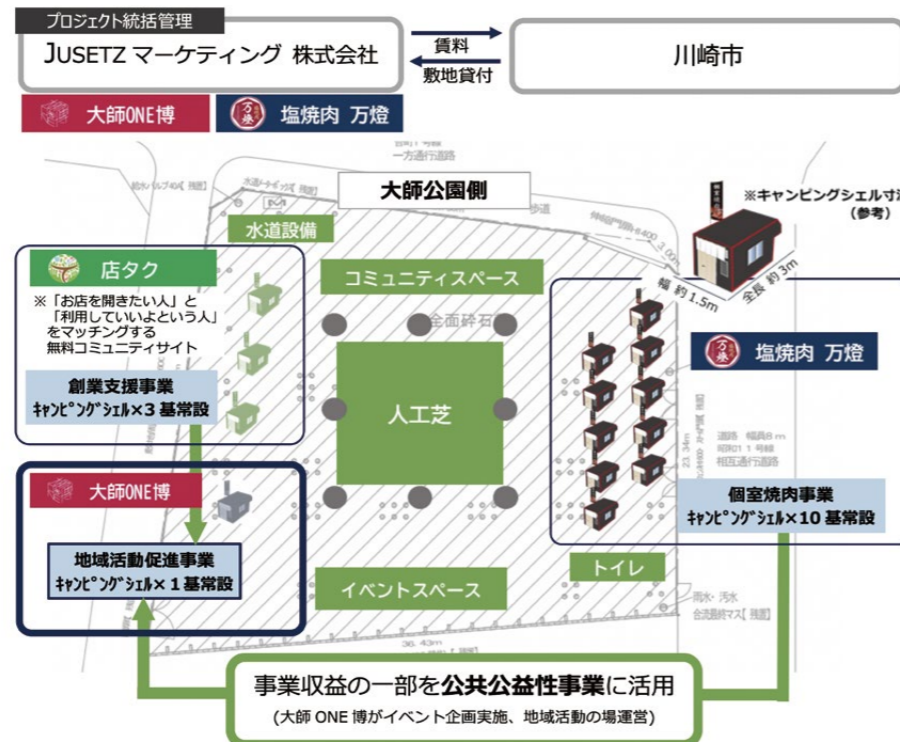
大師分室の敷地では、令和5年度に予定している仮庁舎整備までの1年間、新しい支所の3つのコンセプトを具現化する取組や敷地の適切な維持管理をしていく事業者が決まり、**「Daishi One Park (だいしわんぱーく)」**として敷地活用をスタートします。

敷地内では、物産展(マルシェ)やこどもの就業体験などのイベント実施、地域の方々が活動の場として活用するスペース、キャンピングシェルを活用した個室焼肉事業や創業支援事業など、様々な取組を行う予定です。

今後地域の皆さまの御意見を伺いながら、敷地の活用を進めていきます。最新情報は Daishi One Park のホームページをご覧ください。



【敷地レイアウト・事業イメージ】(現時点での予定)



お問い合わせ  
川崎市 市民文化局  
コミュニティ推進部 区政推進課  
〒210-0007 川崎区駅前本町11-2  
川崎フロンティアビル7階  
電話 044-200-2855  
FAX 044-200-3800  
eメール 25kusei@city.kawasaki.jp

地域のみなさんと一緒に新しい支所を考えるニュースレター



# 川崎区支所 TIMES

第3号

## 新たな川崎区役所と支所に向けた取組進行中！

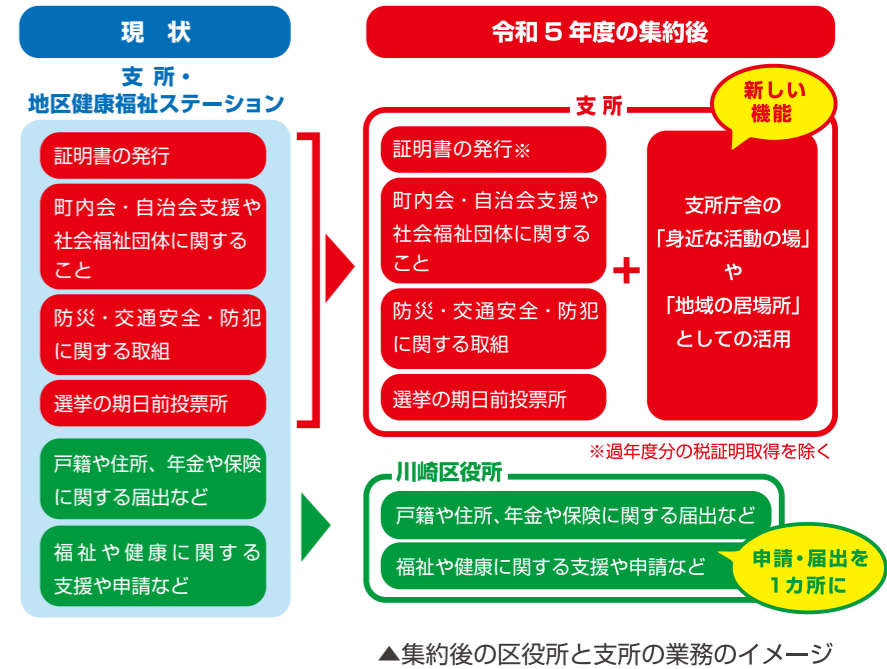
令和4(2022)年4月発行

現在支所で受け付けている申請や届出を、令和5(2023)年度中に区役所に集約し、様々な手続きを区役所1か所で行えるようにします。また、支所では、証明書の発行や町内会等の支援、防災の機能等は継続し、「身近な活動の場」や「地域の居場所」として建て替え、より地域の皆さまが活用できる拠点としていきます。

### 新しい支所は、より身近な地域拠点へ

大師支所と田島支所は最寄りのこども文化センターと老人いこいの家等との複合施設として、令和9年度の完成を目指して建替えに向けた取組を進めています。地域の拠点としての機能を探り、建替えを契機とした大師地区・田島地区のまちづくりを進めていくため、地域の方々と「やってみたいまちの使い方」を実施する「まちの使い方ラボ」を実施しました。

(詳細は中面をご覧ください)



### 大師地区・田島地区のまちづくりのコンセプトブックを発行しました

これまでの取組や新しい支所の3つのコンセプト(右に記載)などをまとめました。イラストは川崎区内で活動しているイラストレーターのオキジュンコさんに御協力いただきました。川崎区役所や支所などで配布しています。



大師地区・田島地区まちづくりのコンセプトブック 未知との出会いにオープンなまち

### 新しい支所3つのコンセプト

- 1 人と人をつなげてコーディネートする支所
- 2 地域の新しいチャレンジを後押しする支所
- 3 子どもたちが安心できる居場所を創出する支所

コンセプトブックは市のホームページでご覧いただけます



左の2次元コードを読み取ってください

# まちの使い方ラボを実施しました

## まちの使い方ラボ

大師・田島支所の建替えに向けた検討における市民参加の取組として、「まちの使い方ラボ」を実施しました。「まちの使い方ラボ」では、もっとまちに開かれた支所のあり方を考えるため、参加者（ラボメンバー）が「やってみたいまちの使い方」を企画・実践してきました。



### 2021年7月22日(木・祝) 「青空ラボ」

キックオフとして、大師支所、大師公園を使った「青空ラボ」を開催しました。株式会社グランドレベル代表・喫茶ランドリーオーナーの田中元子氏による講演、移動式あそび場全国ネットワーク代表の星野諭氏による移動式遊び場などを実施しました。

#### 田中元子氏講演 /

#### マイパブリックでまちに出よう!

田中元子氏の講演では、「マイパブリック」と「グランドレベル」についてお話をいただきました。

「マイパブリック」は、まちの使われていない場所で自分の趣味をやってみることを切り口に、まちのためではなく、自分が心から面白いと思うことで世の中に役立っていると思える視点が大切であること、「グランドレベル」は、1階づくりはまちづくりであることを学びました。

新しい支所を、人が集まってくる場所としていくために、1階をどのような空間にするか、コンセプトの実現に向けて非常に示唆に富んだお話をいただきました。

#### 星野諭氏プロデュース /

#### かわさきあそびラボ

かわさきあそびラボでは、星野氏のプロデュースにより、大師公園の芝生広場に子どものあそび場をつくり出しました。

また、新しい支所のコンセプトの1つである「子どもたちが安心できる居場所を創出する支所」の実現に向けて参加者の親子に、ヒアリングやシール投票（下写真）を実施しました。新しい支所には、子どもたちが安全に遊べ、本を読める場所や気軽に立ち寄り、食事をしながら休めると良いという意見を多くいただきました。



## ラボメンバーが実施しました 「実験 DAYS」

実験 DAYS では、ラボメンバーの「やってみたいまちの使い方」の試行実験が5つ実施されました。

### 1 | 仲間づくりの秋！大師仲間あつまれ！



大師支所や大師公園にブースを設置し、通りゆく人のやりたいことを聞いたり、連絡先を交換したり 試行錯誤しながら、計3回実施しました。

### 2 | シニアのためのスマホ教室



田島いこいの家大広間で、若者がシニアにスマホ操作を教えながら交流する場をつくりました。

### 3 | おやすみひろば「にじのはし」



大師新生幼稚園跡を使って、フリースクールをつくりました。これから本格的にスタートします。

### 4 | かわさき区EST



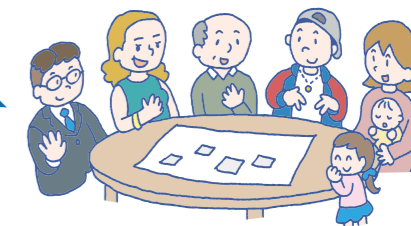
若者同士が交流する場づくりを進める団体が立ち上がりました。12月に、コミュニティカフェを開催しました。

### 5 | みんなみんな生きているんだ！守れ！アニマルHELP



大師公園を使って動物愛護をテーマにした物販、ワークショップを行いました。売上の一部は川崎市動物愛護センターなどに寄付しました。

#### これから



今後は、今回の取組を通じて新しく生まれた活動やつながりを継続していきます。

### 2021年12月18日(土) 「振り返り会」

振り返り会では、グループごとに企画・実践を進めていたラボメンバーが集まり、活動報告や交流会を行いました。また、群馬県庁職員で、公私ともにまちづくりに取り組まれている宮下智氏の講演を聞き、今回の取組意義を再確認するなど、ラボメンバーそれぞれがまちの使い方を考える機会となりました。

#### 宮下智氏講演 /

#### 人口減少社会でも持続可能な地域づくり・人づくり



群馬県庁の宮下智氏の講演では、プライベートで取り組まれている県庁前広場を活用した事例などを紹介していただきました。補助金に頼らず

持続的な運営体制の中で志のある民間と連携して取り組んでいること、まずはやってみる大切さ、情報発信の重要性などについてお話をいただきました。

#### ラボメンバー 活動の振り返り

- ・自分の子どもがきっかけで活動を始めたが、地域のために取り組んでいきたい
- ・協力しあって活動を進めていきたい
- ・みんなでシェアしながら良いまちにできると良い
- ・取り組む仲間の一員として気づいたことが多かった
- ・やってみる大切さを実感した
- ・これから始まることにワクワクしている

これらにつながる取組となりました!